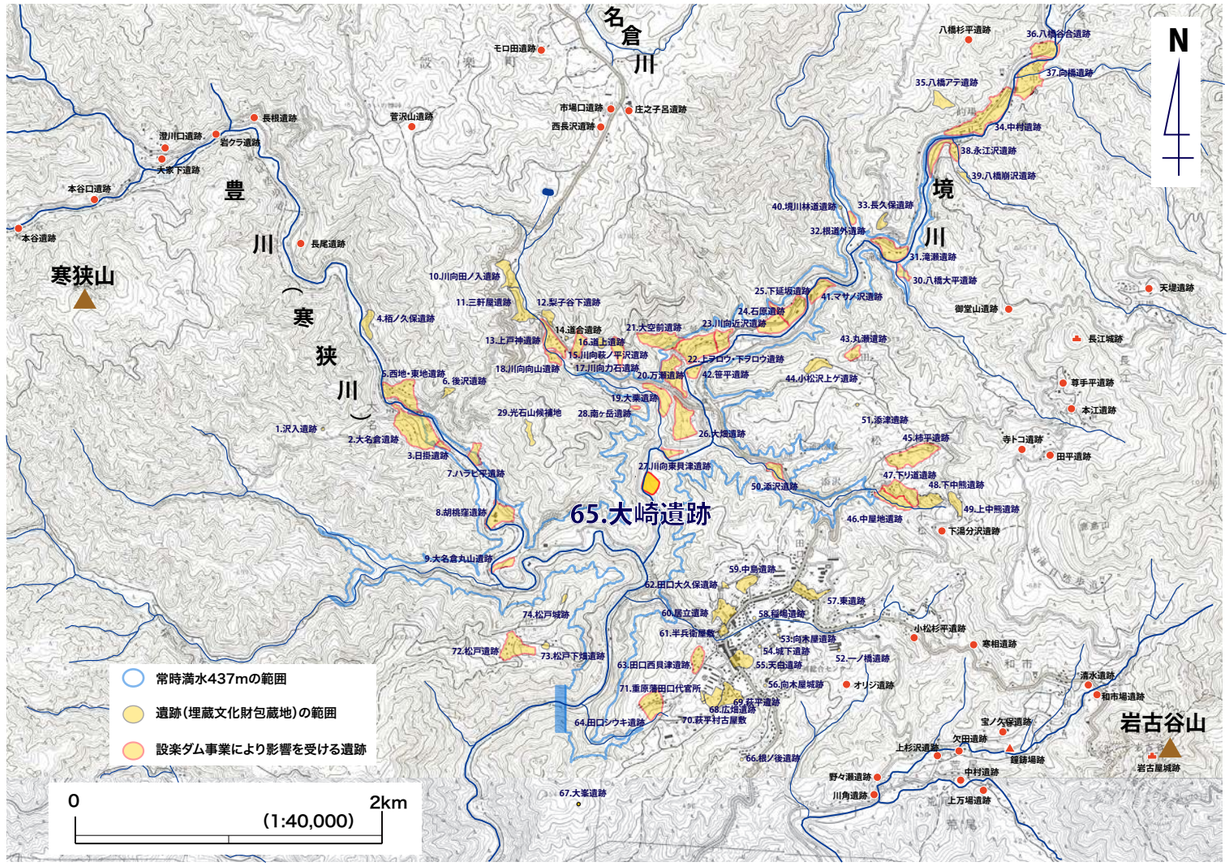
令和３（2021）年12月19日（日）実施

愛知県北設楽郡設楽町

おおさき 大崎遺跡 地元説明会資料

大崎（おおさき）遺跡は設楽町田口字大崎の境川左岸の緩斜面（かんしゃめん）上にあります。今回見つかった成果で最も注目されるのは、調査区西側から南東側全面に展開する鎌倉（かまくら）時代の水田跡（すいでんあと）で、三河山間部は初めての調査事例となります。水田跡の下には縄文時代中期～晩期や弥生時代中期の竪穴建物跡（たてあなたてものあと）がまとまって確認されつつあり、さらにその下層では縄文時代早期（そうき）？の煙道付炉穴（えんどうつきろあな）も見つかっています。

公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター
〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方802の24
電話（0567）67-4163【調査課】
HP http://www.maibun.com/
Facebook https://www.facebook.com/maibunaichi
Twitter https://twitter.com/aichi_maibun



設楽ダム関連 遺跡分布図　国土地理員刊行　2万5千分の1地形図「田口」「海老」より

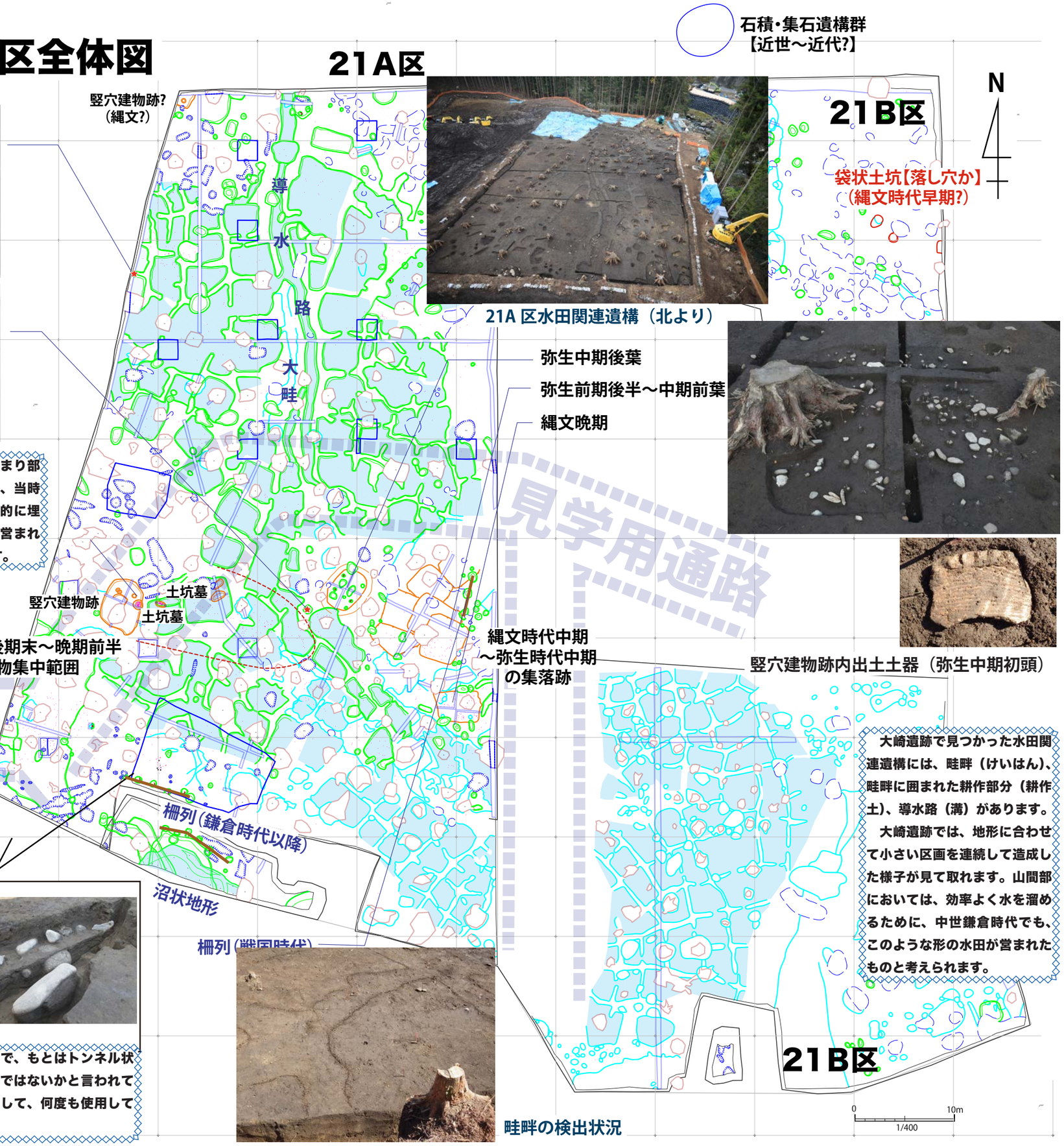
大崎遺跡関連年表

年代	時代	主なできごと	愛知県の遺跡	大崎遺跡 見つかった主な遺構
350年前0	後期旧石器時代	台形様石器・ナイフ形石器・局部磨製石斧の出現	上品野遺跡（瀬戸市）	
300年前0		鹿児島県姶良カルデラ（A.T.）の降灰	茶臼山遺跡（豊根村） 駒場遺跡（豊川市）	
250年前0				
150年前0	草創期	土器の発明・弓矢の使用	萩平遺跡（新城市） **川向東貝塚・遠遺跡（設楽町）** **滝瀬遺跡・大渠遺跡（設楽町）**	
600年前0	早期	貝塚の形成	多り畑遺跡（豊橋市） 大寄寺遺跡（豊田市）	
		気候の温暖化による海進	**鞍舟遺跡（設楽町）** **大根平遺跡（設楽町）**	
500年前0	前期		**西地・東地遺跡（設楽町）** モリ下遺跡（新城市）	**竪穴建物跡か**
400年前0	中期		石岸遺跡（新城市） **笹平遺跡（設楽町）** **大名倉遺跡（設楽町）**	
	縄文時代	寒冷化し、海退した低地にも生活を始める	吉胡貝塚（田原市） 宮嶋遺跡（豊根村） 麻生田大橋遺跡（豊川市）	**竪穴建物跡** **埋葬遺構**
300年前0	後期		桜平遺跡（東栄町）	
250年前0		抜歯風習の盛行	白石遺跡（豊橋市） 瓜郷遺跡（豊橋市）	
	晩期	土器棺墓群が形成される	西向遺跡（東栄町） 欠山遺跡（豊川市）	**竪穴建物跡**
		稲作の開始　環濠集落の出現	馬越長火塚古墳（豊橋市） **扇木下古墳（設楽町）** **丸根古墳（設楽町）**	
A.D.1年	弥生時代	金属器の使用・銅鐸の使用		
300年	古墳時代	女王卑弥呼邪馬台国を統治する 大和政権の出現・各地に古墳の造営		
600年	飛鳥時代	仏教の伝来		
		645年 乙巳の変（大化の改新）		
700年	奈良時代	710年 平城京遷都		
		743年 東大寺大仏建立の詔・国分寺	三河国分寺跡（豊川市）	
800年		794年 平安京遷都	白鳥遺跡（豊川市）	
900年	平安時代	藤原氏の摂関政治		**大根平遺跡（設楽町）**
1000年				★
1100年		武士の台頭		
1200年		1192年 源頼朝 鎌倉幕府を開く	普門寺跡（豊橋市） ブヤキ窯跡（東栄町）	**水田関連遺構**
1300年	鎌倉時代	元寇（文永・弘安の役）		
1400年	室町時代	1338年 足利尊氏 室町幕府を開く	武節城址（豊田市） **田峯城址（設楽町）** **津具城址（設楽町）**	
1500年		1467年 応仁の乱		
1600年	戦国期	1575年 長篠の戦い	吉田城跡（豊橋市）	
1700年	江戸時代	1603年 徳川家康 江戸幕府を開く		
1800年	安土桃山時代			
1900年	近代・現代	1867年 大政奉還		
2000年		1945年 太平洋戦争終結		

★ 石積遺構　★ 水田関連遺構　★ 竪穴建物跡　★ 竪穴建物跡か　★ 煙道付炉穴 →☆？

大崎遺跡21区全体図

上の遺物は、いずれも水田の畦の高まり部分の中から出土しています。これらは、当時の人が、水田造営などに際して、意図的に埋めたもの考えられることから、水田が営まれた時代を推定する好資料となっています。

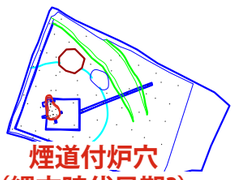


見学用通路
架 橋

大崎遺跡で見つかった水田関連遺構には、畦畔（けいはん）、畦畔に囲まれた耕作部分（耕作土）、導水路（溝）があります。

大崎遺跡では、地形に合わせて小さい区画を連続して造成した様子が見て取れます。山間部においては、効率よく水を溜めるために、中世鎌倉時代でも、このような形の水田が営まれたものと考えられます。

【下層】



煙道付炉穴
（縄文時代早期?）

縄文時代の屋外に設けられた炉で、もとはトンネル状に掘られて、燻製などを作ったのではないかと言われています。石を用いて構造的に改変して、何度も使用していた様子が見られます。

土層断面と遺構の関係